

質問：市民からの意見聴取について、どのような人たちにどの程度内容を知ってもらいどのような意見を伺っているのか計画と実績を教えてください。特に当事者の若い子育て世代かその前の世代の方々からの意見がどの程度集まっているのでしょうか？

回答：昨年8月に「伊丹市幼児教育推進計画(案)」を策定し、公表して以来、今回の説明会を含めると各地域毎に100回を超える説明会を開催し、2,000人を超える方々の参加、パブリックコメントでは873人から意見を聴取しました。

特に、12月議会では対象者で計画を知らない市民が多いことからすべての対象者にお知らせすることが求められたため、今年の1月以降に、0～5歳の子どもがいる世帯へ全世帯へダイレクトメールを送付(8,966世帯)し、計画案の策定における経過と今後の取り組み、計画の見直しポイントや計画案の概要がわかる資料、Q&Aを同封。全体説明会や個別相談・説明会、メールによる相談の仕組みをご案内しました。

東りいたみホールで全体説明会では、283人が参加されました。

更に、当事者である保護者の個別具体的なニーズにお応えするため、0～5歳の子どもの持つ保護者を対象として個別説明・相談会を各幼稚園、市役所1階ロビーでも開催し、18カ所で、175人が参加されました。

加えて、広報特集号(1月15日号)により計画案の段階で周知を行う異例の取り組みとともに、メールによる相談を実施しました。

こうした取り組み以外にも、日々、窓口やお電話でご意見やご質問をいただきました。

これまでにないほど、多様な手法で、多くの市民の皆さまのご意見・ご要望を踏まえた市民参加により、2度にわたり、計画の見直しを行ったところです。

「当事者からの意見がどの程度意見が集まっているのか」については、1つ1つ件数は積み上げていませんが、賛否両論ある状況であり、公立幼稚園等への愛着や通園の変化など個々人の事情を踏まえた反対のご意見をいただく一方で、公立幼稚園の現状を踏まえ、幼児教育推進計画の趣旨や内容については理解いただけているものと考えています。

特に、幼児教育の無償化や公立幼稚園での3歳児保育、預かり保育、プレ保育の実施をはじめ全体として幼児教育の充実について早く実施してほしいとのご意見を頂戴しており、また、今回の意見交換会では、特に、これから園に通わせる保護者からは、秋の園児募集についての質問・ご意見が多く、園選択にあたり、早く決めてほしいとの意向が強いと認識しています。